



自民党

埼玉県議会議員

県政報告

令和2年 秋号

美田むねあき

みた

発行：埼玉県議会自由民主党議員団
美田むねあき県政事務所 三郷市采女1-91
TEL：048-951-5826
FAX：048-951-5926



今年度の所属委員会 福祉保健医療委員会(委員長) / 経済・雇用対策特別委員会(副委員長)

県議会9月定例会

コロナ対策強化のための大型補正予算成立

県議会9月定例会(会期:9月24日~10月14日)は、新型コロナウイルス感染症に対するさらなる強化策などを柱とした一般会計補正予算(第7号、第8号、第9号)1,313億6,011万8千円の補正予算を議決しました。6月定例会での補正予算に次ぐ大型予算で、一般会計の補正後累計は2兆3,083億9,014万4千円となりました。

インフルワクチンの無償化、コロナ専用病棟の整備、かかりつけ医で診療可能に

新型コロナ対策の主な内容は、専用仮設医療病棟の整備、入院医療機関のECMO(エクモ)等の設備整備、身近な医療機関で新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの両方を診療・検査できる体制の整備、重点医療機関の病床確保に対する助成費の増額、抗原検査費用の増額等となっています。

さらに、季節性インフルエンザの流行期に備えるため、高齢者を対象にインフルエンザのワクチン接種を無償化する21億3,961万1千円【第8号】補正予算を計上。10月からの事業実施を急ぐため、定例会開会日の9月24日に特例としてスピード採択しております。なお、**無償化の対象となるのは65歳以上の高齢者と60歳~64歳の基礎疾患のある方などで、無償化期間は10月~12月となっています。**

地域経済へのでこ入れも強化

新型コロナにより景気が急速に悪化していることから、経済活動の回復と「新しい生活様式」への対応として、中小企業のオンラインでの販路開拓への支援をはじめ、観光関連事業者への支援、生活福祉資金の特例貸し付け事業への補助金の増額等も盛り込まれています。

県の財政状況も厳しくはありますが、引き続き新型コロナウイルス感染症対策に全面的に取り組んでまいります。皆さまのご指導・ご鞭撻をより一層賜りますようお願いいたします。



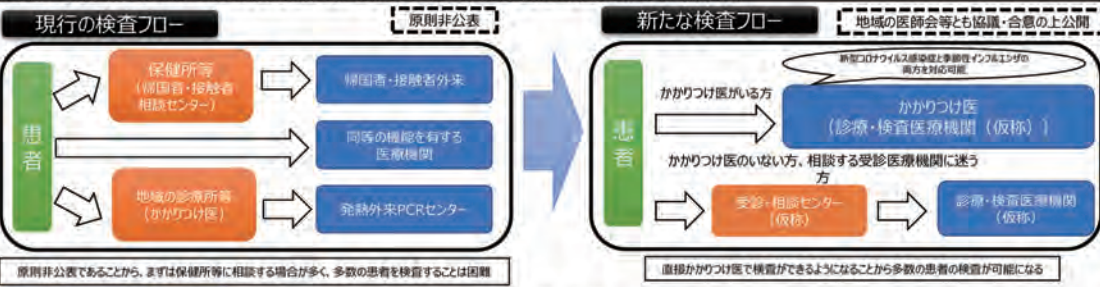
県議会9月定例会最終日(10月14日)、経済・雇用対策特別委員会副委員長として議会本会議において委員会報告を行いました。今定例会では、主に新型コロナウイルス感染症による経済的影響を受けている、県内中小企業者への支援策について議論しております。(2頁に概要を掲載)

補正予算の概要

- 《第7号》877億4,996万2千円(国庫支出金:879億9,805万5千円)
 - 入院医療機関の体制整備への助成……………549億1,050万3千円
 - 専用医療施設の整備への助成……………37億5,400万円
 - 軽症者等を受け入れる宿泊療養施設の更なる確保…68億6,099万3千円
 - 県内経済活動の回復と「新しい生活様式」への対応
 - *観光応援キャンペーン等による観光関連事業者への支援…4億6,829万9千円
 - *中小企業のオンラインでの販路開拓に向けた支援……2,427万6千円
- 《第8号》21億3,961万1千円
 - 市町村に対する高齢者等のインフルエンザワクチン接種費用(自己負担相当額)の補助(補助対象期間:令和2年10月1日~12月31日までのワクチン接種分)
- 《第9号》414億7,054万5千円(国庫支出金:395億5,694万5千円)
 - インフルエンザの流行期における発熱患者増加に備えた抗原検査費用の増額……………36億9,920万円
 - 県が指定する「診療・検査医療機関(仮称)」の体制確保支援
 - *体制整備のための協力金の創設……6億66万3千円
 - *国が配布する個人防護具の保管・配送……………3,220万8千円
 - 重点医療機関に対する病床確保料の増額……………167億9,138万2千円
 - 生活に困っている人々への支援
 - *生活福祉資金の特例貸付の受付期間延長に伴う補助金の増額……………203億4,709万2千円

次のインフルエンザ流行に備えた体制整備について

・季節性インフルエンザの流行期には多数の発熱患者の発生が予想されるが、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザを臨床的に鑑別することは困難である。
・これまでの検査体制では、多発する発熱患者を診療、検査することが困難であるため、住民の身近な医療機関で新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの両方を診療・検査できる新たな体制を10月をめどに整備する。



ぜひご利用ください!! 埼玉県LINEコロナお知らせシステム

施設や店舗等でQRコードを掲示し、その場所を訪れた方にQRコードを読み込んでいただきます。後日、その施設や店舗、イベント会場等を訪れた方が新型コロナウイルス陽性となった場合、保健所の判断により、その方と濃厚接触した可能性のある方に対して、相談を促すメッセージをLINEでお送りします。皆さまのご利用をお願いします。

事業者の皆さまへ

次のアドレスの発行フォームから店舗等の情報を登録すると、QRコードが発行されます。 <https://saitama.qr.liny.jp/entry>

Profile

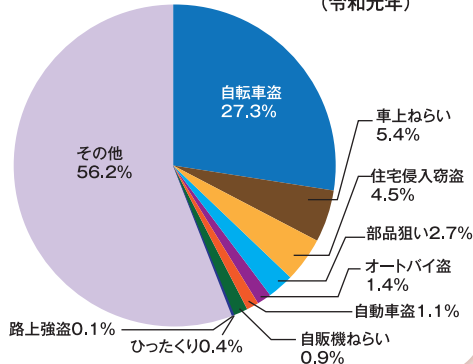
■昭和48年5月6日 三郷市彦成に生まれる ■ちくみ幼稚園~彦郷小学校~城北学園中・高等学校~日本大学商学部 ■あさひ銀行(現りそな銀行)日本橋支店勤務を経て、ミタルマイト工業(有) ■平成21年 三郷市議会議員(連続2期) ■令和元年 埼玉県議会議員(2期目) ■三郷高等学校PTA・後援会顧問 ■三郷親睦会リーグ会長 ■三郷市ボウリング愛好会顧問

犯罪は身近なところで発生しています。 自助・共助で犯罪から身を守りましょう!!



犯罪件数は15年間で約7割減

「刑法犯全体に占める街頭犯罪と住宅侵入窃盗」(令和元年)



令和元年の埼玉県の刑法犯認知件数は5万5,497件で、前年と比較すると4,504件(7.5%)の減少でした。過去最悪を記録した平成16年の18万1,350件と比較すると、12万5,853件(69.4%)も減少しています。

特殊詐欺(オレオレ詐欺等)は減少傾向でも要注意!!

令和2年8月末現在の特殊詐欺の被害件数は652件(被害金額:11億8,507万円)と前年同期に比べて被害件数、被害金額ともに減少しています。しかし、依然として警察官、金融機関職員、百貨店店員及び家電量販店店員等を装ってキャッシュカードをだまし取ってお金を引き出す手口やキャッシュカードをすり替え盗み取る手口が発生しています。このほかにも、還付金があると言葉巧みに無人ATMなどに誘導し、現金を振り込ませる手口、はがきやメールで未納料金等と称して電子マネーや現金をだまし取る手口も発生しています。また、犯人から自宅に詐欺の電話がかかってきたという通報も毎日、数多く寄せられているそうです。

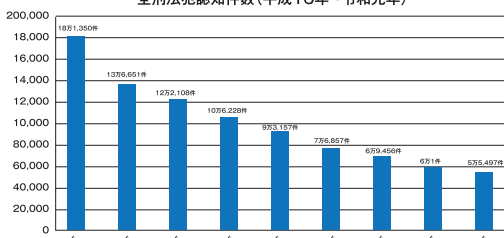
「自分はだまされるはずがない」「うちの親は大丈夫だ」と考えず、ふだんから家族や身近な人と気軽に相談できる環境を築き、万一のために家族で合言葉を決めたり、在宅中も留守番電話にしたり、防犯機能付き電話を使用するなど、被害に遭わないための対策をとりましょう。



身近な犯罪「自転車盗」がもっとも多く発生

しかし、身近なところで発生する

犯罪は、全刑法犯罪の約5割を占め、特に自転車盗は全刑法犯罪の約3割ともっとも多く発生しています。



自転車盗の約3割が戸建・集合住宅敷地内で発生し、盗まれた自転車の5割以上が無施錠です。自宅敷地内はもとより、コンビニでの買い物など、わずかな時間でも必ず施錠しましょう。

被害状況(令和元年)

区分	認知件数	前年同期比	被害金額
オレオレ	266件(39件)	-100件	7億3,284万円
預貯金	634件(66件)	-64件	6億1,094万円
架空料金請求	146件(2件)	-66件	4億2,709万円
融資保証金	21件(0件)	+6件	1億1,644万円
還付金	154件(0件)	+25件	1億7,992万円
その他	2件(0件)	-2件	6,855万円
キャッシュカード詐欺	236件(3件)	+90件	3億2,196万円
特殊詐欺全体	1,459件(110件)	-111件	24億5,776万円

被害状況(令和2年1~8月/暫定値)

区分	認知件数	前年同期比	被害金額
オレオレ	212件(21件)	+16件	5億4,180万円
預貯金	202件(31件)	-237件	1億8,701万円
架空料金請求	66件(0件)	-34件	2億2,466万円
融資保証金	9件(0件)	-1件	1,861万円
還付金	81件(0件)	-21件	1億1,102万円
その他	5件(0件)	+4件	328万円
キャッシュカード詐欺	77件(0件)	-50件	9,866万円
特殊詐欺全体	652件(52件)	-323件	11億8,507万円

注:カッコ内は未遂件数です。
注:その他とは、特殊詐欺の種類「金融商品詐欺」「ギャンブル詐欺」「交際あっせん詐欺」「その他の特殊詐欺」の4類型を合計したのになります。

新型コロナで大きな影響を受けている 地域経済の要: 中小企業の支援策を討議

9月定例会において、私が副委員長を務める「経済・雇用対策特別委員会」で、県内中小企業者への支援策について議論した主な内容です。地域経済の要である県内中小企業者の健全な経営を守るため、県に対し提言・要請をしております。

企業・事業者の現状について

■経営支援

- 計画経営への取り組み支援(経営改革計画)
- 販路開拓支援

県産業振興公社による展示商談会(彩の国ビジネスアリーナ等)を開催。受発注登録情報を元にした個別にマッチングを支援しました(あっせん紹介件数: 652件)。

■資金調達の円滑化支援

●中小企業制度融資

事業者が低利で融資を受けられるよう、県が金融機関に対し利子を補給(融資枠: 3,600万円【令和2年度当初予算】、融資件数: 10,852件、融資額: 856億円)

●新型コロナウイルス感染症への対応(経過)

2月 * 経営あんしん資金の融資対象者要件の緩和(3カ月の売上減少→1カ月)

4月 * 経営安定資金、経営あんしん資金の拡充

●技術力向上支援

産業技術総合センターによる技術支援、研究開発支援、事業化支援を行うとともに、中小企業の先進的な取り組みを助成しました(補助金交付: 16件、合計8,000万円)。

●事業継承支援

県産業振興公社のコーディネーターによる相談対応(210件)、セミナー開催(4回)。

①融資利率の引き下げ(▲0.5%)

②融資限度額の拡大(5,000万円→最大1億6,000万円)

③融資期間(7年→10年以内)等の延長

* 緊急借換資金の創設

5月 * 新型コロナウイルス感染症対応資金の創設

* 経営安定資金、経営あんしん資金の据置期間の延長(3年→5年以内)

* 融資枠の拡大(3,600億円→8,000億円)

7月 * 融資枠の拡大(8,000億円→1兆2,000億円)

■商店街・サービス産業支援

- NEXT商店街プロジェクト
- 商店街の賑わいづくり・施設整備等の支援

- サービス産業事業者へのICT支援
- 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3つの「密」**「密閉」「密集」「密接」**を避けましょう!